

## 学校の統合に向けた説明会 【会議録】

### 1 日時

令和7年3月13日（木）19時～20時40分

### 2 場所

大阪祭典浪速区民ホール（浪速区民センター）1階 ホール

### 3 参加者

区民の方々 17名

### 4 出席者

#### 【浪速区役所】

区長 幡多 伸子

副区長 松原 真美

市民協働課 教育・学習支援担当課長 濱田 俊通 他8名

#### 【教育委員会事務局】

総務部 学校適正配置担当課長 笹田 愛子

総務部 学校適正配置担当課長代理 岡永 直記

指導部 総括指導主事（教育活動支援担当） 浅木 賢一

指導部 指導主事（初等・中学校教育担当） 松田 紘司

指導部 指導主事（初等・中学校教育担当） 本間 瑞恵

### 5 配付資料

「浪速区学校の統合（小学校・中学校）について～学校配置の適正化～」

### 6 説明会の概要

#### （1）区役所からの説明

・資料にそって説明

#### （2）主な質疑応答の内容

（ご意見・ご質問1人目の方）

・今現在大国小学校に子どもが通っている〇〇と申します。よろしくお願いします。

今回の統合の件なんですけども、現在、5年生と4年生と2年生と今年新入生1年に入るんですけども、本当にこの間大國小学校の先生方に親密に生徒さんたちと関わっていただいております、統合に関してなんですけども、統合した場合にそういう先生と保護者とのコミュニケーションとか、こども1人1人と先生方との密接な関係というか、人数が多くなり先生方の配慮も大変かなと思うんですけども、その辺の意見として生徒との関係が（今までと同じように）いい関係でという言い方はおかしいんですが、（こどもの人数が増えることで先生方は）今まで以上に大変になるかと思いませんけども、そのような中で先生方の対応が気になりまして質問させていただきました。よろしくをお願いします。

（教育委員会事務局 笹田学校適正配置担当課長）

・ご質問ありがとうございます。大國小学校で少人数の中で先生方と密な温かい関係の中で（学校で）過ごしているということで、先生方とのいい学校の雰囲気を作られているのかなというふうに感じました。確かに小規模の学校だと本当にそういったことが、保護者の方、こどもさんも含めて実感できるという状況かなと思います。

・実際に学校の規模が大きくなってそういったところが心配やというご意見をこの間、他所の区や学校から伺うことがあります、クラスとしては1クラスの人数の上限が決まっておりますので、担任の先生と子ども達との関係という意味では同じであると思いますし、学級数が多くなるということは先生方の人数が増えるということになるので、いろいろな先生方が子ども達と関わる機会が増えるので前向きにとらえていただけたらと思います。

・実際に統合後の学校の子ども達にアンケートをとったところ、いろいろな先生との出会いが増えたといってくださいる声が多く聞かれたので、そういう意味ではご安心をいただきたいと思いますし、学校の規模にかかわらず一人一人の子ども達を見ていくということについては教育委員会、学校としてとしては変わりないとお考えいただけたらと思います。

（教育委員会事務局 岡永学校適正配置担当課長代理）

・教育委員会から少し補足させていただきます。今、ご意見いただいた中でお子さんが大國小学校の中で先生方と教育活動をともにされているということですが、統合された後の教員体制というところについては当然、統合後に学級数が増えるということは、教員の数が増える。当然、統合後の今の栄小学校の教員の数も増えるということになります。

・大国小学校、敷津小学校の全員の方というのはなかなか難しいとは思いますが、そのまま引き続き栄小学校の方でご勤務していただける教員ということで、新しい学校になって、全く当該校のお子さんのことをわからない教員の方が配置されるとなると保護者の方も不安になるかと思っておりますので、そのときの（統合時の）人事の話にはなるかと思っておりますが、全くもってそういったことが配慮されないということではございませんのでご安心いただけたらなと思っております。よろしく申し上げます。

（ご意見・ご質問 2人目の方）

・2点ばかり質問させていただきます。まず1点は、テキストでは36ページ、令和7年度以降の児童数は過去10年の浪速区全体の増減率をもとに算出している、と記載しております。これは具体的にはどういうことをおっしゃっているのか。私は一つ考えられるのは、行政には人口の資料があります。例えば、この統合でしたら大国町に今人が何人住んでるとか、6年後には何人小学校入ってますとか、そういう資料を基にしておられるのか、単なるざっとした数字でやられているのか。

・それとともに、最近浪速区ではマンションがどんどん増えてます。マンションを建てる場合は、ご存知だと思いますけども建築基準法で行政に届け出てきてるんです。ということは、行政はどこに、なんぼ建設されそうかというのはわかってると思えます。その辺も加味されてるのかどうか。それもまずお聞きしたいと思えます。

・それともう1点は、統合までに6年ですか。こんなにゆっくりして大丈夫ですか。設計に2年から3年とか、工事に3年かかるとか。普通、マンション建設に6年はかけてないと思えます。この辺のもうちょっと行政の方で短縮できないか。というのは、校舎を建てる場合に6年後にこの数字が果たして正しいかどうか、若干、疑問に思えますのでこれらの点についてお答えをお願いいたします。

（教育委員会事務局 笹田学校適正配置担当課長）

・ありがとうございます。私の方からお答えさせていただきます。推計をどうやって出しているのかというご質問が1点目だったかと思えます。この見込みの値につきましては、もちろんこの数がぴったりというものではなくて、今後の学校規模が増えていくのか減っていくのかという傾向を把握することを目的としております。

・出し方なんですけれども学校ごとにですね、通学区域内における過去10年間のうち住民基本台帳に載っている0歳児から5歳児の数、それと1年生から6年生でこれも各年度に学校基本調査という国の調査で各学校から取りまとめている、統計の児童数に基づいて各年齢・各学年が進むごとの増減率を算出しそれを掛けて次の年度の数字

を算出しております。そういった意味では公のデータを用いまして過去 10 年間の増減の状況を踏まえてこの推計値を出しております、ということが一点目のお答えになります。

・それからマンションなどが建設されているが、そういった数字っていうのはちゃんと把握してるのか、というようなご質問だったと思います。通学区域内にマンションの建設計画があった場合については教育委員会に連絡が届くことになっています。連絡があるのは 2DK 以上で 70 戸以上のマンションが建つような計画が出たら教育委員会に情報が届きます。教育委員会ではそのような情報を今、申し上げてる推計値には全て反映した上で算出を行っているというのが 2 点目のお答えになります。

・3 点目になりますが統合までに工事にえらい時間がかかるんじゃないかということのご指摘だと思います。これについては近年、工事期間が延びている状況にあります。これはなぜかということ、工事現場における働き方改革ということで、工事現場で働く方々が工期を短くするために土日もなく（週休 2 日制を確保されずに）働いていた状況の改善を進めるために工事事業者も含めて週休 2 日制をとるようになった関係で、働く方々の休日確保、また人材不足の点から人材を確保しようと思うと工事等の期間かかってしまう。そこを行政が働き方改革に反して無理やり早く建設してくださいということにはなりませんので、そういう全体的なルールの中で工事を行うとするとどうしても標準的な期間が長くかかってしまう。当然、工事の規模によって長い短いはあるかもしれないけれども、その辺はご理解いただければと思います。

・そういったこともあって、だんだん（統合までの期間が）延びてきているという状況もあって、区役所におかれましても学校の小規模化の状況が生じたときに、今からそれを検討しても、どうしても工事等に時間がかかってしまうということで、急いで計画をしっかりと作っていかねばならない、という考えで今日の説明会での検討案の説明を行っているということです。

（幡多浪速区長）

・ご質問ありがとうございます。私も（小規模化の状況は）本当に差し迫った状態になっているなと思っており、子ども達の数が減ってきて教育環境としては良くないので速やかに対応しないといけないと思って、できるだけ早く統合したいと思ったのですが、改築をしていかないといけないということでどうしても、どれだけ頑張っても令和 13 年度の統合というのが最短での統合時期、ということでもうそこは致し方ない。

・ただ、令和13年度までに時間があるのでその間に子ども達が不利益を被らないように、教育環境について整えていくための（インセンティブなどの）予算を確保したりとか、確実にその工事が行われるようにもっていこうと思ったら、ちゃんと統合案を計画の形にして決定をしなければ次のプロセスに進めない。そのため、こういう形でみなさまに統合案のご理解をいただいて計画案をしっかりと作り、計画案ができた後は子ども達の今の教育環境をしっかりと維持向上させていく取り組みを進めていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思えます。

・推計については、確かに推計の仕方って非常に難しいと思うんですけども、教育委員会事務局では今、我々でわかりうる人口の状態ですね、各小学校区に0歳児が何人、1歳児が何人ということのをベースに推計を作ってくれていますし、マンション建設があるということのを確実に把握してそれを推計に反映させるということもしてくれているので可能な限りの方法はとっていただいておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いします。

（ご意見・ご質問 3人目の方）

・将来の人口推計には高位、中位、低位とある。行政としては推計に関わっては中位を用いられていると思うが、浪速区ではいわゆる外国籍の児童・生徒が今後増える可能性があるが、この点については加味しているのか。

（教育委員会事務局 笹田学校適正配置担当課長）

・今の現状で申し上げますと、住民基本台帳に登録されてる方と外国籍の子どもも含めて実際に在籍している子ども達の人数に基づいて推計を出しており、今のご指摘ではこれから外国籍の子どもたちが増えてくる中で、例えば住民基本台帳に載っている、載っていないにかかわらず子どもさんが学校に来るといふようなところも含める、そういったことを反映しているかと言われたら、今の段階では確かに反映していない。

（教育委員会事務局 岡永学校適正配置担当課長代理）

・補足をさせていただきますと、統計上といいますか、過去10年の転居に伴う転出入であるとか、また私学等に入学される方もおり、児童の方の全てが必ずしも大阪市立の学校に入学されるわけではございませんので、特に中学受験をされる方もおりますのでそういったところも全て、鑑みて推計という形で算出させていただいております。ただ、結果的に年度年度です、局地的な動きとかありましたらその推計通りにならない可能性というのは確かに否定できないんですが、我々ができる計算の方法

についてはこのやり方が一番という形で考えております。

(ご意見・ご質問 3人目の方)

・ということは低位、高位、中位という形式で出していないのですね。いわゆる人口推計で用いられる低位、中位、高位のことで、(本日の資料においても)低位、中位、高位を用いて推計を出さないといけない。何が言いたいのかというと、塩草立葉小学校が統合するときに教育委員会事務局は低位・中位・高位の将来推計の数字を出していた。そのときに高位の数字では700何名まで出してたんですよ。学校のキャパ(収容人数)の問題があって、広い環境を作るのであれば、そこの高位の部分で考えていかなあかんと思う。だからこそ、今いろんなマッチングでいろいろ考えて数字合わせやってるけど、浪速小学校なんて全然受け入れることができなわけでしょ。よそもそうでしょ。今後新たにそれ(学校の統合)をやるのであれば、そこを計算してやっていかなあかんというふうに正直思う。

・おそらく来年ぐらいからはもう予算要求のことを考えて走り出さなあかんと思う。このようなスパンから考えると。それと同時にやっぱり地域の保護者の皆さんが一番心配しているのは小学生の通学路の安全確保の問題であって、一応ここにも載ってましたけど、それをどういうふうにするか。基本的には区役所が一生懸命、年度ごとに通学路の点検とかやっていたら、非常にありがたいですけど。例えば浪速小学校が統合したときに、開校の直前の2か月前に校長先生がここに信号をつけてほしい、ここに横断歩道をつけてほしい、歩道橋をつけてほしい、と言い出した。そんなとんちんかんなことにならないようにしてほしい。信号1個設置するのに2年ぐらいかかるわけですよ、警察に上程して、地域の署名を全部集めて…。そういうこともしっかりとやってほしい。

・やっぱりある意味、それはもっと地域との絡みで議論していく、丁寧な議論をしていくって部分あるんですけども。気になるのは、私は栄小学校の校区になりますけど、どちらかというと受け入れ側になるのかなっていうふうには思ってるんですけども、今のままでしたらね。今後、校舎の増築っていうこともやっぱりあるんで、早急にその辺はしていかなあかんのかなっていう。通学路のこと、そこはしっかりとやっぱりいろんなところと連携して、もうちょっと地元の要求を早めに聞いてもらわないことには、整備の方には行きづらくなっていうふうに私ら思っています。

・最後の方に、開校の前に校章の問題であったり校歌の問題であったりとかあったじゃないですか。でも早い段階でそれだったらもう、来年度ぐらいにやっぱりそういった地域の意見をしっかりと議論するような場を設けていただいて、そこで整合性をやっ

ぱり作ってもらえたらというふうに思っております。

・もう一つこれちょっと今回進め方の話ですけども、学校選択制がこういうふうにしてしまったっていう部分もあると思うんです。それは関係ないと言われたら関係ないかもしれないけど、でも保護者の方々にはどういったことも達の動向になってるかっていうのも、やっぱりそれはしっかりと見てもらわないといかんと思います。動きが全然わかんないんですよ。

・大国小学校の通学区域の子の保護者に（進学先を）聞いたら、今宮小中一貫校に入学するといわれた。そういうことも学校選択制度のために起きてしまっているということですよ。浪速区全体でいうと適正配置の網にかかってしまうおそれもやっぱりあるんですけど、全国的には出生率が1.1になってたら、これから人口減少の波がくるわけですよ。だからこそ行政が主導でこういうことをやってるっていうのは重々わかるんですよ。でも、もうちょっと地域の丁寧な意見を聞きながらやっぱり進めていくことが必要。（一方で）早急に進めていく必要がある部分もよくわかりますよ。

・でもやっぱり（子どもが）多いところは多いんですよ。西宮なんて過剰ですよ。近場で言うなら西区もそうですが、タワマン群ができてそこにやっぱりいろんな子育て層が集まる。20年後を考えてみてくださいよ、その子どもが巣立ったらどうなるんですか。そこでまた空洞化がおきるかもしれへんし。やっぱり一番気になるのはその施設自体が今後どうなるかわからへんけれども、統合なったときにやっぱり小学校っていうのはその避難所という部分がやっぱりあるんで。それがやっぱりなくなってしまうっていう。

・浪速区は高いビルとかあるのでポテンシャルはすごくあるとは思っています。やっぱりいろんな民間の方々にも（津波対策の）避難所の協力をお願いして、70ヶ所ぐらいやってるのかな、100ヶ所をめざす、っていったけど。そういった部分は70か所もすごいとは思っていますけど。

・あと市営住宅っていうポテンシャルもやっぱりあるんで、やっぱりその辺も踏まえて、もっともっとその地域の人意見を吸い上げるような、やっぱり会議、議論を今後やっていただきたいと、このように思います。

（幡多浪速区長）

・ありがとうございます。統合案は急ぎ蹴り上げるというか、計画化したいと思ってるんですけど、やはり通学路の安全面とか、それからその後やっぱり学校の名前をどうするのかとか、いろいろとどうするのかとか、校章をどうするのかとか、そういう

話も全てしていかなければならないと思います。増改築のことや子ども達の教育環境のことを見据えて、この計画案は早く完成させたい、教育委員会へ上程をし決定事項としたいと思うんですけども、どうしても統合まで令和13年度14年度までかかるということで、逆に準備期間はそれだけあると思うんですね。

・その中でいろんなやっぱり今ご指摘いただいた通学路の問題、校歌・校章をどのようにするのかっていうような問題もありますし、他にもコミュニティをどうするのかとか、いろいろ本当に統合に伴う課題っていっぱいあると思うんですけど、そこを一つ一つ、地域の皆さんのご意見もいただきながらまたご協力をお願いしながら何とか対応策をしっかりと作り上げるっていうか、これは区役所だけでなく教育委員会事務局にもしっかりと手伝っていただきながら進めていかなきゃあかんっていうふうに思っておりますので、またご意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いします。

(ご意見・ご質問 4人目の方)

・〇〇〇に住んでいます。子どもが小学校に上がったときに、立葉小学校がなくなりました。立葉小学校に行けると思ってたので非常にショックだったことを覚えています。踏切を渡って塩草立葉小学校に通わないといけないことになりまして、塩草立葉小学校に通ったのですが4年後に生徒が今度は増えましたって言って、校舎を建てる説明会が行われました。先ほどの話もありましたが、私も皆さんがお出しになる推計というのはあまり信用しておりません。教育委員会事務局の施設整備課と学事課が出してくる数字が違う、ということもありました。

・結局、校舎が増築をされました。今回の案でいうと最初から建てるという話をされてまして、これ質問ですけども、最初から運動場に建てるということで考えているということでもいいんですかね。栄小学校と難波中学校とそれぞれでの、ということが一つです。

・先ほどから言われてるような浪速区の子どもが少ない、人口が減ってることはないんじゃないかと思うんですけど、子どもが少ないということの何か分析といいますかね、どういうふうに思われているのかが気になります。というのは、これ小学校が4校になる、中学校が2校になる、という感じですよ。24区の中で小学校が4つにまでなるっていうところあるのかなと思って、人口とその学校との数がどう他の区と比べてもバランス悪い、先ほど避難所の話も言われてましたけど、そこも気になりますので、どう捉えておられるのか。教えていただきたいです。

・また、通学距離が長くなるというのは、非常に子どもたちにとって大変だと思いま

す。雨の日とか大人でも行くのが嫌になるぐらいの距離ね、ほんまに大変やなと思います。木津の一番端のところから難波中に行くの、今、難波中学校にこどもが通ってるんですけども、これ大変だなと。何か校区割変更の案っていうのは考えられなかったんでしょうか？ということが気になっています。何かうまいこともうちょっと何かね、終わり方が、そこは気になっておりました検討されてないかということです。

・ いっぱい色々言ってます。もう一つ、さっき選択制の話で言われて、選択制導入以降、どうなったんかっていう資料が私は港区とか西区とかの学校統合の説明会にいったときも示されてなかったんですよ、ちょっとわからないっていう。港区の池島小学校というところなんかもろに影響を受けてましてね、ほとんどの子が他の校区に通っているっていうことをみんな言ってるんですけど、ただそれを数字では表せない。西区の九条東小学校もなくなるんですけど、これももう学校がなくなるっていうわけで、お隣の本田小学校とか日吉小学校にみんないってはるっていう話もありますね。何かその選択制の影響っていうのが、どのようにデータとして持っておられるのかなと気になってます。

・ 少人数だからこそその良さっていうのが私はあるんじゃないかと、思ってます、それこそ選択制というのであれば、何か少人数の学校というのが選べるようにおいとくっていうことなんかはできないものなんだろうかと。これ何か予算がないとかじゃなくて何か理念として聞かしてほしいです。例えば何かデータとしてね、クラス替えができないからとかいろいろあるんだけど、何かデータとしてクラス替えができないから不登校が増えているとか、そういう学校で、そういう学校だから問題が起きているとか、何かそういう数字として表れているものがあるのかなと思って気になってます。

・ あとはすいません、もう1個だけ6年後に統合ということで、検討会議というのはどういうメンバーで、どういう規模でやられることを検討されてるのか知りたいです以上です。

(浪速区役所 濱田教育・学習支援担当課長)

・ ご質問ありがとうございます。全部になるかどうかはみんなでお答え合いながらにはなると思うんですけど。まず校舎の増築の関係でグラウンドに建てるかどうかについては今時点で、必ずグラウンドに建てるっていうことで固まってるわけでは…、まだ設計も何も入っていないので必ずというわけではないです。建てるのであれば、今候補としては運動場かなと思います。これから学校再編整備計画を立てて、予算取りをして設

計に入るといふときぐらいにならないと、ある程度はつきりしたことになるのか  
なと思います。ただ候補としては、運動場というのはあるのかなと思います。

・それから通学距離の安全関係については先ほどもあり、繰り返しになりますけど  
も、学校再編整備計画を立てた後の学校適正配置検討会議の場で保護者の方や地域の  
方々のご意見を伺いながら、何ができるのか、どういうところが駄目なのかとかいう  
ところを確認しながらご意見を伺いたいと思っております。あと検討会議の人数は5  
人程度だったかと思えます。校区割りのお話がありましたけども、例えば26号線で東  
西に（校区を）わけるとはできないか、ということなども区役所の中では検討はし  
てみましたが統合というのが一番いいのではないかということで今回の案ということ  
で進めさせていただきました。一旦私の方からは以上です。

（教育委員会事務局 笹田学校適正配置担当課長）

・私から今の説明の補足をさせていただきます。運動場に建てるのかという話なんで  
すけれども、運動場の真ん中に増築校舎を建てるということは基本的にはなるべくし  
ないで、当然、その子どもたちの教育環境として運動できるスペース、運動場の確保  
というのが大事なところなんですね。いろいろ検討する中で、特に浪速区のいずれの  
小学校、敷津小学校、大国小学校、難波元町小学校のいずれも校地が狭い状況なので  
増築校舎を建てようと思うと運動場を狭めるというか、どうしても面積的にがばっと  
入らざるを得ないというようなところで、この間の検討の説明の中で、非常に運動で  
きる環境を狭めてしまうことになるということで選択肢から消えていったということ  
もあって、比較的校地の広い、校地が広いということは、運動場の面積をなるべく確  
保しながら増築の可能性が現実的だというふうなところで、栄小学校という結論に達  
したんですけれども、当然まだ今どこに何を建てるみたいなのところについては決まっ  
てない状況です。他の今まで統合して増築した学校のケースでも、とにかくなるべく  
運動場の面積を確保するという、それから学校の運営上、例えば動線とか、そう  
いったことも含めて学校長の意見も含めて、できる限りの教育環境の確保という観点  
から検討していきますということでご理解いただければと思います。

・それと、選択制の影響ということなのだけれども、学校選択制によって統合が行わ  
れているのではないかというご意見をいただくことがあります。今、敷津小学校、大  
国小学校、栄小学校の、例えば、なかなか選択制だけを切り取っての影響というのは  
出し難いっていうのは確かにありますが、仮に今住民基本台帳に載ってる0歳児から  
5歳児の子ども達がそのまま1歳ずつ学年を上がって行って、誰も選択制もない私学

への抜けもない、全員が入学して6年生までスライドしていくというふうな形で、もしそういうかたちでの仮のシミュレーションも今回、教育委員会事務局でしてみました。そうなったときに、敷津小学校も大国小学校も栄小学校も適正規模の12学級になりませんでした。私達、この間、学校選択制と適正配置のことについてお答えしているのが、選択制というのは子どもたち、保護者の方が就学する学校を選べるという制度であるってということと、その学校の規模を適正化するという点については別の制度です、という説明をさせていただいていると同時に、この間、港区であったり、他のところについても、実際に統合を検討するにあたっては、そこにやっぱりお住まいのこどもの数自体が少なくなっているというところで、小規模化しているということで判断して進めていって、という形になります。

・ただ一つあるのは小規模化してしまうと、ただでさえ少ない人数のこどもの中で選択制で抜けると小規模化がさらに進むというか、そういった影響があるというのは私達も認識はしています。

・なんだけれどもそういう加速度的な影響が出るというところについては、どうしても元々のこどもさんの数が減っていったという状況が背景にあるということについてはご理解いただきたいと思います。それと浪速区に関してのデータってということではなく、大阪市全体的なことではしかお話できないんですけども、令和5年度に学校選択制に関して大阪市教育委員会で一旦検証を行っています。それはもう数字的な動向というか、どこからどこへ行ったというような形ではないんですけども、小規模の学校から適正規模の学校がより選ばれている状況、選択する状況が多いというような分析結果が出ているというのが一つ、データとしてはございます。

(教育委員会事務局 岡永学校適正配置担当課長代理)

・検討会議についてのご質問があったかと思うんですけども、学校再編整備計画が教育委員会で決定しましたら、その後、地域、保護者から各校5名ですね、関係校5名程度ということで、校長の意見を聞いて区長の推薦により教育委員会が委嘱するというような形で検討会議というのを立ち上げることになります。

・その検討会議の中で、先ほどもご質問があったかと思うんですけども、校章、校歌、新しい標準服などを、新しくするのかそのまま引き継ぐのか、そういったものを皆さんでご議論いただいて最終的に行政が決定するというような形になるんです。

・そういったところで通学路、通学距離が延びて長くなるというところのお話もありましたが、通学の安全対策というのもその検討会議の中でご議論いただいて通学の安

全プログラムなども活用しながらですね、地域の皆様と通学路となるべきところを実際に見ながらご意見いただいて、新しい学校が開校するまでに対策を行ってまいります。その場合については、交通管理者である警察、道路管理者である建設局と区役所です、そういった対策をしていくかというのにも検討することとなっていきます。以上でございます。

(幡多浪速区長)

・ すいません、浪速区の人口の特色なんですけれども、人口すごく増えてるんです。増えてるんですけれども。どういう方が住みに来てくださってるかというと、単身の若い方が多く住みに来てくださって、それはおそらくやっぱりミナミに近くてミナミほどの家賃は高くないけれども非常に交通が便利だということですね、鉄道もメトロもありますので、ミナミのベッドタウンになってるんじゃないかなと思います。

・ 単身の若い方がたくさん入ってこられて、その証拠にワンルームマンションが本当にたくさん建っているかなと思っています。それでも一定数のファミリーの若い夫婦が来てくださって、こどもも一定数が毎年、浪速区では生まれてるんですけれども、そのこどもの数が小学校上がる前になると、全然キープできずにですね、小学校入る前にはずいぶん減ってしまう状況になっているように思います。

・ それはやはりそのこどもたちが大きくなると、ちょっと広いところに引越しをしたいんだけどワンルームマンションが多くて、ファミリー向けのマンションが少なく、しかもファミリー向けのマンションは高いので分譲で買うにしても厳しいし、賃貸でも家賃が高いついていうそんなことで、ファミリーの方が住み続けていただく、こどもさんたちと一緒に住み続けていただくことが難しい、そういう町に浪速区はなっているのではないかと分析をしています。

(ご意見・ご質問 5人目の方)

・ 私は立葉小学校出身です。塩草小学校と統合しました。そのときにいろいろそのときのことと、統廃合についての教育委員会の方に推計を聞いていたんですけども、それが、今でも話出てますけども、あんまり的を得てなかった状態で、今この塩草立葉小学校を統合して、もう校舎が足らんから増築して、また今回1階のピロティを普通教室にする改修工事を行ったような状態です。

・ 今520~530人ぐらい塩草立葉小学校にいてるんですけども、学校選択制で希望する人らを入れていったらますます多くなる。塩草立葉小学校はこのまあいっただけ減ってくるんですか。

(教育委員会事務局 笹田学校適正配置担当課長)

・学校選択制について申し上げますと、今の既存の校舎の中で受けられる範囲内という形でルールを決めておりますので、例えば今、塩草立葉小学校の余裕のある教室、おそらく今、余裕があんまりないと思われるんですけど、教室数の範囲の中で受入数制限を、それはどこの学校も定員というのを設けてます。その定員をどういう人数にするのかというのは、各学校のキャパの状況を踏まえて、学校と区役所と教育委員会で協議をして受け入れを決めているので、塩草立葉小学校が狭くて受け入れが難しいということであれば、そういったことを勘案して受け入れ枠を決めております。

(教育委員会事務局 岡永学校適正配置担当課長代理)

・塩草立葉小学校なんですけれども本日すいません、(適正化の)関係校ではないので詳細な資料は持ち合わせてないんですけれども、我々の中では、今後の塩草立葉小学校の推計でいいますと、今をピークとして減っていくというような推計は見込まれております。

(教育委員会事務局 笹田学校適正配置担当課長)

・とは言うものの、多分おっしゃりたいのは、今後開発あったら、こどもが増えるんじゃないかっていうんですかね。そういった事をご心配されているのかと思うんですけれども、立葉小学校を統合する時、立葉小学校が非常に小規模化してたという中で、立葉小学校のこどもたちの教育環境を確保するということで、少人数の方がいいといういろんなご意見もある中で、一定の規模を確保して、こどもたちが集団の中で過ごせるようにというようなことで統合させていただいたということで、確かにその開発っていうところ、塩草地域の開発によるこどもの増によって、今校舎の問題が起きているっていうことについては私達も認識してるんですけども、立葉小学校のこども達も含めて教育環境というところについては、その時はその時の判断で統合せざるを得なかったと考えているところです。

・ただ、校舎の広さの問題については、使用される校地の学校の校区の方々もご心配されるところだとは思いますが、一定今後の開発状況とかも見据えながらということになるんですけど、大体700戸ぐらいの大きいマンションが建って、各学年1クラス増えるか増えないか。そういう統計といいますか、実績といいますか一応、見込みは持っています。

(ご意見・ご質問 5人目の方)

・子どもたちが可哀想であるということはもちろんよくわかるんです。その時にね、やっぱり塩草立葉小学校は部屋がないから音楽室を壊して普通教室にしたりとかをやるわけです。それは子ども達移動がかわいそう。あっち行ったりこっち行ったり。これをちゃんと考えてやってもらわなければ先生も困るし、むしろ子どもたち可哀そうと思いますのでこの辺、よく練ってほしいなと思います。

(教育委員会事務局 笹田学校適正配置担当課長)

・ありがとうございました。確かに塩草立葉小学校は、規模としては大規模になっているわけではないんだけど、校地が狭隘だ、という問題については私達、教育委員会としてもしっかり認識しておりますので、今後の子どもさんの動向であったり、開発の動向とかも踏まえると、また増築とは違う方法も含めて狭隘っていうことを区役所と連携して検討していくことになるのかなというふうに考えており、しっかり課題として認識しております。

(ご意見・ご質問 5人目の方)

・はい、よろしく申し上げます。

(ご意見・ご質問 6人目の方)

・今の質問に関連した質問なんですけど、塩草立葉小学校が統廃合して、平成26年4月ということ言ってるんですけども、それ以降、統合して5年ぐらい前と思うんです。新校舎を増築された。4~5年後と思うんですけど、今またピロティを3教室にしてるんです。統廃合をした時の数字というのは間違った推計に基づいて増築されたよう思うんですけども、そこら辺の部分はどうなんでしょうかね。

・特に、今年の新1年生もお聞きしている部分では、90人から100人と聞いている。先ほどにもありましたように、塩草地域は区長もおっしゃってましたけども、マンションが、すごい建設されてる。それはワンルームマンションが多いんですけども、塩草地域では、僕の個人的な感覚ですけど、まだまだ塩草立葉小学校の人数が増えるというふうに僕は思ってるんですけど、そこら辺の4年5年先に先ほど言いましたように、増築してつぎはピロティを教室にして、今度人が増えたらどうするんやということをね、きちっと大阪市教育委員会で数字を押さえていただいて、そういうことがないように、やっていただけるようお願いしたいと思います。

(教育委員会事務局 笹田学校適正配置担当課長)

・ありがとうございます。塩草立葉小学校は平成 26 年に統合したということで、おそらく統合する何年か前から、そういう議論を重ねて、その時も多分統合の前に数年先の推計を見ながら統合したというような経過なんですけれども、ただ、確かにこちらの方で見ますと、統合の後から 280~300 戸近くあるマンションとか、150 戸近いマンションとかたくさん建って、その辺のマンションの戸数を足し上げると 700 戸ぐらいの規模での開発が 26 年度以降に集中して続いたということで、確かにそのあたりが、そのとき入居した方々が小学校になって、人数が増えているという状況になっているのかと思います。

・当然、先ほど最初の方が聞いてくださったときにマンションの開発計画っていうのは、こちらの方も把握してそれも推計値に反映はしているんですけれども、その統合後に増えたものについて、把握しきれてないっていうのは推計値の課題というようなところは確かにあるかと思います。そういった意味で、今後、さらに増築とか、そういったことっていうのをどう考えるのかというお話かと思います。そのことにつきましてはですね、当然塩草立葉小学校の教育環境ということも考えていかなければならない、これは収容対策ということもたちの人数に見合う校舎の整備をどう考えていくかという問題提起というか、その課題をこの間もいろんなところでいただいているんですけれども収容対策については教育委員会の中でしっかり検討して今後…

(ご意見・ご質問 4 人目の方)

・検討しているんですか？

(教育委員会事務局 笹田学校適正配置担当課長)

・はい、しています。

(ご意見・ご質問 4 人目の方)

・立葉小学校をもう 1 回復活させるっていうのはないんですか。元々学校の施設があるんですから増築じゃなくて、立葉小学校もう 1 回復活とか、なかなか難しいですか。

(教育委員会事務局 岡永学校適正配置担当課長代理)

・今の推計を見ますとピークアウトが見えているところもございますので。まだまだこれから我々が把握していないような、また平成 26 年度にあったような、同じよ

うなことがあれば、そのようなことも検討せざるを得ないかなというところもありますが、まだ未来のことはわからない部分がありますが、今わかる範囲の中でできる対策というのを考えていきたいと。

(ご意見・ご質問 4人目の方)

・もと立葉小学校は元々ある施設だし、場所もいい場所じゃないですか。グラウンドも広いし。

(教育委員会事務局 岡永学校適正配置担当課長代理)

・新しい学校が基本的には適正規模になるということが望ましいところがありますので、現実には今の塩草立葉小学校は収容対策としてピロティの工事をやってる部分もあるかと思うんですが、それでもどうにもならないような状況が見込まれれば、そのようなことも検討しなければいけないのかなと。また他にも、皆様のお知恵を借りながら、区役所でも教育委員会でも知恵を絞って対策を考えていきたいと思っております。

(浪速区役所 濱田教育・学習支援担当課長)

・すいません、補足っていうか付け加えますと、塩草立葉小学校のことについて立葉小学校のことを今お話出しましたけども、もと立葉小学校の校区のこどもの数は少なくなってきたという状況もあって、塩草小学校と立葉小学校の統合ということがあったかと思えます。

・今でも立葉小学校の校区のこどもがどこまで増えているのかなっていうところはまだ難しいところはあるかと思えますので、当面は塩草立葉小学校としての学校の教育活動を行っていくことになるかなと思えます。こどもの数が増えることで今年度もピロティを改修して3教室を新たに作って、来年度からはそのピロティを活用しての教育活動を行っていくこととなります。ピロティを転用して3教室増えることが、推計で当面見えているこどもの数に対応できる、もちろん、そのためにピロティを教室化してるんですけども、対応できると考えております。

・なので、先のことでわからないことですが、本当に推計を超えてこどもの数が増えて何か考えていかなければならない時は、繰り返しになりますけども、教育委員会と区役所一緒にいろいろ知恵を出し合いながら検討したいと思っております。

(ご意見・ご質問 4人目の方)

・もう一点だけよろしいでしょうか？浪速区以外でね、あと大阪市23区あるんですけど、統廃合に向けた協議をされている区は何区ぐらいあるんですか。

(教育委員会事務局 笹田学校適正配置担当課長)

・お答えします。今このように、住民説明会を現在進行形でやってる区は浪速区だけなんですけれども、条例が令和2年にできてそれ以降で、いわゆる再編整備計画というものを策定して今統合に向けた準備を進めている区は6区です。

・学校名も申し上げますか。生野区の鶴橋小学校と北鶴橋小学校、それから淀川区の木川小学校と西中島小学校、木川南小学校、これは3校統合です。

・生野区の東桃谷小学校と勝山小学校、それから西区の九条南小学校、九条北小学校、九条東小学校、これは九条東小学校を九条南小学校と九条北小学校へ校区変更します。これは、九条東小学校を廃校にして両校へ校区変更します。

・港区の池島小学校、八幡屋小学校、港晴小学校、城東区の今福小学校と放出小学校、それから大正区の平尾小学校と小林小学校ということで、今申し上げた通りで、直近に再編整備が策定された区は以上です。

(ご意見・ご質問 7人目の方)

・どうもありがとうございました。質問というか、ちょっと小学生の娘を持つ親の意見なんですけど、数年前に西区から転入してきて、今湊町に住んでるんですけど、湊町住んでたときに、目の前の難波元町小学校校区じゃなくて、塩草立葉小学校まで通わないととなった時に、ちょっと歩くじゃないですか。そんな距離じゃないかもしれないんですけど、大きな道も歩くし元々通っていた日吉小学校にもうそのまま行こうって感じだったんですよ。

・先ほどのお話にも出てたんですけど、校区変更を検討したけど校区変更よりも、統合の方がいいということで統合に向けてやられてるってことだったんですけど、なんかやっぱり目の前に難波元町小学校があるのに何か通えないっていうのは、いろいろ考えると、西区の方がいいかなと思うじゃないですか。整合性とか効率性とか安全性とか考えたときに、校区はもう少し考えてほしいな、と。ちょっと質問ではないんですけど。私達が住んでるマンションっていうのは、何かやっぱりおっしゃってたとおり、小・中学校選びになったときに、すごい私学とか、なんか外部に行くんですよ。やっぱりそのイメージというのが安全性とか、浪速区の中学校・小学校あんま

りわかんないんですけど、そんなにいいイメージがないみたいなところがちょっとあるかな、とは思っていて、そんなどうやっていけばいいのかっていう案があるわけじゃないんですけど、そこら辺から考え直さないと、こどもが増えるとかね、もともとマンションが少ないのもあって、ファミリータイプがあっても浪速区を選ぶっていう感じにならないんじゃないかなって感じたので、質問ではないんですけど、お話ししました。

(幡多浪速区長)

・自分のご自身のお子さんをどこの学校にやるのかっていうのは本当に保護者の皆さんにとっては大事なことで、どこにお家を持つのかっていうそれとも密接な関連があると思うんですけど、なのでご自身がお住まいの校区はどこなのか、ということをご皆さんによくわかっていただいて、おうちを選んでいただくとかあるいは学校選択をしていただくっていうことをしていただきたいんですよ。

・私達も学校案内を夏場に作らせていただいて、皆さんにお送りをして学校選択をしていただいたりとか、ホームページに掲載をして、別に来年入学させる保護者じゃなくても見ていただけるような形にはしてるんですけど、なかなかその情報発信が足りないところはあるんですけども、保護者の皆様にもできるだけ学校の情報を取る努力をしていただければありがたいなと思うのと、やっぱり選んでいただく学校にするっていうことは大切なことで、そこは日々努力をしていかなければならないので、それを私達はよりよい教育環境と言ってるんですけど、そこは本当に頑張っていく、教育委員会と連携してやっていきたいと思っておりますので、ご理解ください。よろしくをお願いします。

(幡多浪速区長)

・今日は本当にお忙しいところありがとうございました。皆さんからいろいろご質問ご意見いただいて、やっぱり統合に向けては非常に十分な検討をしていかなければいけないと思いますし、早々に検討すべきものは何なのかっていうご示唆を今日たくさんいただいたように思っています。そこはしっかりと、あるいはそれ以外のところも含めて、皆さんのご意見をお聞きしながら誠心誠意、対応していきたいというふうに思っています。

・一方で、やはり喫緊の課題であるということは今日、皆様にも十分ご理解いただけたんじゃないかなと思っておりますので、特に今日のこの統合案に関して反対のご意見はなかったように思いますので、急ぎそれに必要な予算が取れるよう、また小規模

の学校に対して教育環境を整えるための措置ができるようにということでこの統合案を計画案にして教育委員会の方に急ぎ諮り、来年度に入学を考えておられる保護者の方にできるだけ早くその決定をお伝えできるように、と考えておりますので皆様、何卒ご理解頂戴できたらというふうに思います。

・また個別にご質問などあれば、この資料の一番最後に記載しています担当のところにお問い合わせをいただければというふうに思いますし、またいつでもリクエストがあれば、意見交換をしていただければと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。本日は本当に長時間ありがとうございました。